

みんなが思い浮かべる「ドラゴン」のイメージってどんなかんじ？
『エルマーのぼうけん』に出てくるしましまのボリス？
『まんが日本昔ばなし』のOPに出てくる黄緑の長いやつ？
世界各地の神話や伝説に登場する幻想種・ドラゴン。
今回はその魅力にちょびっと触れていきます。



イワイ
図書館ビギナー
エクスカリバーに
選ばれし勇者(大ウソ)



エーちゃん
ベテラン図書館ユーザー
小学生の頃、校庭に
魔法陣を書いた黒歴史有



ひとし
イワイの友だち
ゲームのことなら
まかせてくれよな

特集

ドラゴン

おとぎ話の住人かと思えば、創世神話にも登場するドラゴン。
宝を見張る、人間を襲う、雨を呼ぶ…
語られる場所によってその性格や姿かたちも様々なようです。
今回はドラゴンの生態や伝説について調べてみました。
ちなみに「ドラゴン」には「鋭くみるもの」という意味があるんやって。

ひとくちに「ドラゴン」って言うけど、いろんなタイプのやつがおるよね…

西洋の龍 のイメージ

東洋の龍 のイメージ



ドラ●エとか
こっちやね



年賀状の干支は
こっちだ！



- ・家畜や人間を狩る捕食性動物
- ・宝の見張り役を務める

他にもヘビとかワニとか
いろんなやつがおるで～
ゲームとかにむっちゃ出てくるよな！

- ・獰猛だが、大抵は人間に優しい
- ・雲を吐き出し、雨を呼ぶ力を持つ

ドラゴン退治の英雄、と言えば…

キリスト教やと龍って
悪魔みたいな扱いやからか、
やたらと退治されがち。
中国やと神聖な存在やのにね。



聖ジョージ またの呼び名を 聖ゲオルギウス / イングランド

とある町の王女が龍の生贄にされる現場に通りかかった聖ジョージ！
龍を槍で突き刺し、町に連れて帰っては、人々にこう説いた。
「町を救ったのはイエス・キリストであるー」
彼は龍を殺すことを条件に、町全体をキリスト教に改宗させたのです。
その後彼は王女と結婚したとか殉教したとかいろんな説を経て、
死後数世紀経った後、無事に聖人に列されましたとさ。



シグルド ゲルマン神話では ジークフリート / 北欧

父親を殺して手に入れた財宝の山を見張るうちに、龍となったファーヴニル。
その兄弟レギンは大神の剣を持つ王子シグルドに龍を退治させた後、
彼を亡き者にすることで財宝を独り占めしようと企んでいた。
レギンの策略に翻弄されながらも龍を退治したシグルドは
龍の心臓を調理中、指に飛んだ肉汁を舐めて、小鳥の言葉がわかるようになる。
それによると、龍の心臓を食べた者は永遠の知恵を授かるとのこと！
龍の心臓を平らげたシグルドは裏切り者レギンを殺し、財宝を自分のものとしたのです。



小鳥の言葉が
わかる…???



スサノオと八岐大蛇/日本



高天原を追われたスサノオが出雲の国に降り立つと、そこには八岐大蛇の生贄にされる娘・クシナダヒメを思い、泣いている老夫婦の姿があった。大蛇退治に繰り出したスサノオ。クシナダヒメの姿を櫛に変え髪に差し、強い酒を用意し大蛇を待ち受けると、怪物は樽ごとに頭を入れてこれを飲み干した。酔い伏した大蛇をスサノオが剣で切り裂くと、一つの剣が現れた。これが天照大神に献上され、後に三種の神器の一つ草薙剣となった。

マルドゥクと原初の母ティアマト/バビロニア



世界のはじまり。原初の母である女竜ティアマトの夫アプスは、子孫の神々のうち強力なエアを恐れ、滅ぼそうとするも返り討ちに遭う。夫を殺された復讐に狂うティアマトは様々な怪物を生み出し、自らの子どもである神々を攻撃するようになった。エアからティアマトとの対決を依頼されたエアの息子マルドゥクは、自分が勝利したあかつきには自分を最高神にすることを条件とし、これを引き受けた。激しい戦いの末、勝利したマルドゥクはティアマトの体を真っ二つにして天と地を作った。

マーリンと二匹の龍/イングランド



王が塔を建てようとしても毎度崩れ落ちてしまう。「父なし子の血を捧げよ」との助言を受け連れてこられた少年は、塔が崩れ落ちる本当の理由を説いた。その土地の下に池があり、そこに二匹の龍が閉じ込められ、二匹の争いの衝撃で壁が崩れ落ちるのだ。少年が魔術で池の水を抜き、石の箱を開けさせると、赤い龍と白い龍が飛び出し激しく闘い始めた。これはブリテン人と侵略者サクソン人と意味していると王に説いた少年は、アーサー王伝説で有名な魔法師マーリンであった。ちなみにこの龍のうち、赤い方はウェールズの旗に描かれている。



RPGだよ、図書館の巻



イワイの幸せな朝でした



世界中の伝説に龍が出てくるんやったら、昔はほんまにおった気もしてくるよなあ。突然ですが、ここでいきなりクイズ! この漢字→はなんと読むでしょう!?

龍龍龍龍

読めるワケねーだろ!! まじでこんな漢字あんのかよ!?



大漢和辞典に載ってる漢字の中のいちばん画数が多い漢字のひとつやで。ちなみに龍が二つのと三つの漢字もあるよ。

(A. 読み方: テツ/テチ 意味: 言葉が多い/多言)

注意な!

※画像はイメージです!
※伝説の内容や名前の読み方には諸説あります!

【参考文献】

『ドラゴンの教科書』ダグラス・ナイルズ/著 高尾菜つこ/訳 原書房
『ドラゴンの伝説』デイヴィッド・パーシズ/作 ウェイン・アンダースン/絵 岡田淳/訳 BL出版
『世界の竜の話』丸山顕徳・竹原威滋/編著 三弥井書店
『竜の本』ルース・マニング＝サンダース/編著 西本鶏介/訳 復刊ドットコム
『空想動物ものがたり』マーグリット・メイヨー/再話 ジェイン・レイ/絵 百々佑利子/訳 岩波書店

※ここからはふるさと文庫で読んでね!

『世界の怪物・神獣事典』キャロル・ローズ/著 松村一男/監訳 原書房
『日本昔話事典』稲田浩二/ほか編集 弘文堂
『大漢和辞典: 巻12、巻13』諸橋轍次/著 大修館書店

